

事業報告書

平成 24 年 度

社会福祉法人 和光福祉会

障がい者支援施設

熊取療育園

はじめに

平成 24 年度のスローガン「笑顔であいさつ！ 楽しい活動！」

重点目標

- ① 個別支援計画を具体化して、ひとりひとりの能力を引き出せるような支援をしていく。
- ② 日中活動(生活介護事業)の充実。
- ③ 近隣住民との交流を深め、地域の人々から信頼される施設作りをめざす。
- ④ 経営理念・経営方針に基づいて、円滑な経営を保つように努める。
- ⑤ 4S・KY（整理、整頓、清掃、清潔・危険、予知）活動の実施。

スローガンに関して

昨年度同様、「笑顔であいさつ！楽しい活動！」を合言葉に取り組みました。

笑顔であいさつは、利用者ひとりひとり表現の違いがありますがスタッフからあいさつをすると笑顔で返してくれるようになってきました。利用者さんから明るい声で挨拶が増えたことで、良い雰囲気になってきました。

重点目標に関して

個別支援計画に関して具体化に向けて取り組みましたが、ゴールはありませんのでより一層の努力をと考えています。

次に活動ですが、内職班が出来て作業工賃が増えました。また、選択肢を多く取り入れることで活動の提供に幅を持たせるよう検討し、取り組みました。

地域交流では、南小学校との交流、日根野イオンでのイエローレシートキャンペーンの活動に参加、地域の行事への参加することにより、療育園をひとりでも多くの方に知ってもらうこと、また地域の社会資源となって貢献できることを目指して取り組みました。

経営理念に関しては、スタッフ一丸となって意識することで、ご利用いただく利用者の人数増員、短期入所と日中一時支援の利用者増を図り、安定した経営に尽力しました。

4S活動については、利用者にとっての快適な生活環境づくりやスタッフにとっての働きやすい職場づくり日常より意識し取り組みました。

KY活動に関してはよりレベルの高い支援力が要求され、十分に発揮するには至りませんでした。

その他

施設整備では、1階の便所とお風呂場の改修工事に取り組みました。重油方式をガス方式に変更、利用者やご家族の方に喜んでいただくことができました。

事故に関しては、男性利用者が興奮して不安定となり、他の利用者が被害に遭い亡くなりました。

この事故を真摯に受け止め、支援のあり方を見直し、より細やかな支援に取り組みました。

感染症に関しては、1月26日に1名がインフルエンザに感染、9名の方に感染しました。

1 職員の動向

〔採用〕 男性 1名 女性 3名

職員名	年月日	職種	勤務形態
R・T	24.04.01	生活支援員	非常勤
F・M	24.05.01	生活支援員	正職
Y・N	24.09.20	生活支援員	非常勤
K・N	24.10.15	生活支援員	非常勤

〔退職〕 男性 1名

職員名	年月日	職種	勤務形態
K・M	25.03.31	施設長	正職

2 利用者の動向

① 入所

利用者名	年月日	理由	性別
M・F	H24.4.1	介護困難	男性
S・F	H24.4.1	介護困難	女性
Y・F	H24.6.1	介助者不在	女性

② 退所

利用者名	年月日	理由	性別
Y・M	24.10.30	死亡	男性

3 利用者の状況

① 年齢（ ）については生活介護事業

歳	20未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	平均
男	0	1	4	13	5	2 (1)	2	48.5 (48.0)
女	0	2	2	6	8	5	1	50.5 (50.4)
合計	0	3	6	19 (20)	13	7	3	49.5 (49.5)

② 区分（ ）については生活介護事業

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
男	0	0	1 (0)	11	7	8	4.81 (4.88)
女	0	0	1	13 (14)	6	4	4.04 (4.19)
合計	0	0	2	24	13	12	4.69 (4.71)

③ 療育手帳など（ ）については生活介護事業

	男性	女性	計
A	24	21 (22)	45 (46)
B1	3 (2)	3	6 (5)
計	27 (26)	24 (25)	51

※精神保健手帳保持者 1名

※身体障がい者手帳保持者 9名

4 男性フロア（施設入所支援）

① 利用者の動向

入所者1名 増員。(H24.4.1 入所)

入所者1名 死亡。(H24.10.30)

入所者1名 投薬調整の為、精神科入院。(H24.11.26～H25・4・1)

② 利用者の生活状況

一泊外出、日帰り外出の計画立案、実施しました。

(ア) 一泊外出

4/25～26 京都市太秦映画村・嵐山 利用者4名 職員2名

12/17～18 三重県伊勢市・鳥羽市 利用者4名 職員2名

9/18～19 和歌山県有田市ぶどう狩り 利用者4名 職員2名

(イ) 日帰り外出

日付	要件	場所	人数	日付	要件	場所	人数
4/1	桜まつり	長池公園	4	4/8	桜の花見	日根神社	4
10	イエローレシート	イオン日根野	2	12	昼食外出	かっぱ寿司	3
16	サーカス観覧	大阪城公園	2	21	単独買い物外出	イオン東岸和田	1
5/4	つつじの花見	ダンバラ公園	3	24	夕食外出	平野台の湯	1
26	歌謡ショー	阪南市ホール	3	6/3	昼食外出	平野台の湯	2
6	昼食外出	かっぱ寿司	1	10	薬師寺 茶会	奈良	2
10	昼食外出	ショッパーズ	1	11	イエローレシート	イオン日根野	3
14	金剛山登山	千早赤坂村	4	16	夕食外出	ショッパーズ	2
17	オカリナ作り	ハーベストの丘	2	24	昼食外出	かっぱ寿司	3
27	南小学習発表会	南小学校	2	7/1	昼食外出	清児の湯	1
10	夕食外出	ほの字の里	4	14	昼食外出	かっぱ寿司	3
15	夕食外出	王将	1	17	夕食外出	美笹の湯	1
18	昼食外出	かっぱ寿司	2	8/4	映画鑑賞と昼食	イオン泉南	2
4	昼食外出・買い物	平野台の湯	1	4	盆踊り大会	自由ヶ丘	3
8	夕食・買い物	イオン日根野	1	11	昼食・買い物	りんくうイオン	1
16	夕涼み会	関西聖地霊園	4	18	単独外出	関西空港	1
19	高校野球観戦	甲子園球場	2	25	昼食・買い物外出	りんくうイオン	3
25	永楽ダム歩行	永楽ダム周辺	7	25	買い物外出	イオン日根野	3
26	プロ野球観戦	京セラドーム	6	9/4	面会外出	イオン日根野	1
9	町民体育大会	ひまわりドーム	4	16	単独外出	東岸和田トーク	1
22	音楽鑑賞会	ロート製菓ホール	3	22	昼食外出	かっぱ寿司	3
24	南小運動会	南小学校	4	27	面会外出・夕食	近隣	1
27	夕食外出・入浴	美笹の湯	1	10/11	芸術鑑賞会	南小学校	3
13	買い物外出	りんくうイオン	1	14	面会外出	美笹の湯	1

日付	要 件	場 所	人数	日付	要 件	場 所	人数
15	金剛山登山	千早赤坂村	2	15	面会外出	美笹の湯	1
18	フロアー外出	休暇村 加太	全員	20	昼食外出	かっぱ寿司	3
21	面会外出	美笹の湯	1	27	スポーツフェスタ	長居競技場	6
11/2	町民文化祭準備	レンガ館	1	3	買い物外出	オークワ	3
4	町民文化祭参加	レンガ館	9	4	面会外出	イオン日根野	1
7	花の文化園	河内長野	2	11	みかん狩り	谷口農園	1
11	買い物外出	オークワ	3	15	昼食外出	かに道楽	4
18	歩行訓練	永楽ダム	全員	21	ナイスハート	府立体育館	10
22	昼食外出	かっぱ寿司	3	23	夕食・買い物	りんくうイオン	2
25	面会外出	清児の湯	1	30	昼食・入浴・買い物	りんくうイオン	3
12/1	わねっと見学外出	イオン日根野	2	2	みかん狩り	谷口農園	3
2	わねっと見学外出	イオン日根野	4	5	昼食外出	美笹の湯	1
9	歩行	永楽ダム	5	11	イエローキャンペ	イオン日根野	2
11	夕食・買い物	りんくうイオン	1	16	衆議員議員選挙	南小学校	15
19	昼食外出・散歩	かっぱ寿司	2	22	夕食・買い物	りんくうイオン	2
23	昼食外出	和歌山城周辺	1	28	夕食・散髪	平野台の湯	3
28	昼食・買い物	かっぱ寿司	3	1/1	初詣	日根神社	8
2	初詣	日根神社	6	12	夕食・入浴外出	平野台の湯	2
31	昼食・水間寺へ外出	かっぱ寿司	2	2/3	わねっとシンボ	イオン日根野	5
3	節分豆まき	療育園にて	全員	7	フロアー外出	京都・太秦	全員
16	昼食外出	加太 休暇村	6	25	昼食外出	かっぱ寿司	2
3/8	南小発表会	療育園	全員	9	プロ野球観戦	甲子園球場	4
11	太極拳	療育園	全員				

③ 五郎寿司様

来園していただき美味しいお寿司を食べさせていただきました。

④ インフルエンザの発症の有無

外部からの持込で感染者が1名出ました。ご家族様の協力により帰宅をしていただき他の利用者さんに感染すること無く、最小限で食い止めることが出来ました。外部からの持込が一番怖く、健康体の方でも来園時には、玄関で手の消毒や衣類についている菌をはらい落としていただき、入園のご協力をお願いしております。また、短期利用者、日中一時利用者の方々にも同様に、ご協力をお願いしております。

⑤ 怪我や病気の状況

(ア) 4/10 泌尿器科へ通院 エコー検査で尿が溜まっていることが分かり導尿する。6/5 に尿道に管を通して排尿できるようにする。

(イ) 4/19 大動脈弁閉鎖不全 加齢によるもので心配ないとDrの所見。

(ウ) 5/7 水道水の多飲によりNa値の低下で通院 様子観察と水分の摂取量を減らす。

(エ) 8/22 眼科通院 自傷行為により目の中に指を入れて炎症を起す。目の周りもただれる。

- (オ) 9/15 胸部レントゲン・採血腸にガスが溜まり横隔膜付近まで溜まっている。水分補給をする。
- (カ) 9/16 滑液包炎 膝下にゴルフボール大のコブが出来る。加齢によるもので、粘膜が弱ってきているので、炎症を起しやすい。(生活改善を要し、しゃがみ込まないで膝を伸ばすこと。)
- (キ) 9/20 右肺炎の為、入院する。経過良好で2週間ほどで退院できた。
- (ク) 11/14 軽度の心不全 疲れがたまって起こり、今後は、散歩や外出は、職員同伴で行う。
- (ケ) 12/12 ペースメーカー点検の為、通院する。

⑥ 利用者のトラブル

- (ア) 小さなイザコザや口喧嘩などはありません。
- (イ) 娯楽室で利用者 2 名が、取っ組み合いの喧嘩をしている所を発見。幸い発見が早かったので、怪我は無く双方引き離し、理由を尋ねるが、はっきりした原因は分からず、仲良くするように話し握手をして仲直りをする。
- (ウ) 突然、利用者の服を引っ張り引きずり回す行為があった。夕方になると、粗暴行為が集中するので注意していたが、職員の間をついて、居室に引き込み粗暴行為に及ぶことがあった。
- (エ) 相性の悪い二人が不調の折、接近して突然、蹴る行為に及ぶ。「いらん事を言った」との理由だが、相手は掃除中で話を交わす状態ではなかった。
- (オ) 3 階廊下にて突然大声を出して傘を持ち出し、他者を突きに行こうとする。側に居合わせた職員が、傘を取り押さえて事なきを得たが、本人には注意の声掛けを行った。

5 女性フロア（施設入所支援）

① 利用者の動向

入所者1名 増員（H24.4.1）

入所者1名 増員（H24.6.1）

② 利用者の生活状況出

一泊外出、日帰り外出の計画立案、実行しました。

（ア）一泊外出

日時	行き先	参加者
6/19～6/20	加太温泉	利用者 4名 職員 2名
9/5～9/6	京都	利用者 4名 職員 2名
11/29～11/30	白浜温泉	利用者 4名 職員 2名

年一回の一泊旅行は、皆さんがとても楽しみにしている行事の一つであり、行き先は利用者の希望に添えるようにしています。しかしながら、今年度はスタッフの不足で希望者全員に楽しみにしていた旅行を実施することができませんでした。

（イ）日帰り外出

日時	行き先	参加者
4/1	桜まつり（長池公園）	利用者 4名 職員 1名
4/8	買物	利用者 1名 職員 1名
4/9	昼食、買物	利用者 1名 職員 1名
4/13	木下サーカス(大阪鶴見緑地)	利用者 6名 職員 3名
4/25	ハーベストの丘	利用者 3名 職員 2名
5/14	いよやかの郷（フロア外出）	利用者 25名 職員 10名
5/17	映画（泉南イオン）	利用者 1名 職員 1名
5/23	買物（日根野イオン）	利用者 1名 職員 1名
5/25	関西空港	利用者 1名 職員 1名
5/30	コンサート(泉の森ホール)	利用者 4名 職員 3名
6/1	昼食、買物（日根野イオン）	利用者 2名 職員 1名
6/5	みさき公園	利用者 3名 職員 2名
6/7	一心寺	利用者 1名 職員 1名
6/10	お茶会（奈良）	利用者 3名 職員 1名
6/16	買物(日根野イオン)	利用者 1名 職員 1名
6/17	買物	利用者 1名 職員 1名
6/18	一心寺	利用者 1名 職員 1名
6/18	昼食、買物（日根野イオン）	利用者 2名 職員 1名
7/30	一心寺	利用者 2名 職員 1名
8/11	昼食、買物	利用者 2名 職員 1名
8/16	夕涼み会（聖地霊園）	利用者 2名 職員 1名

8/22	昼食、買物（泉南イオン）	利用者 2名	職員 1名
8/30	買物(泉南イオン)	利用者 1名	職員 1名
9/10	買物	利用者 1名	職員 1名
9/14	昼食、買物（日根野イオン）	利用者 2名	職員 1名
9/22	アコム見るコンサート（泉の森ホール）	利用者 5名	職員 2名
10/18	いよやかの郷（フロア外出）	利用者 25名	職員 10名
10/27	スポーツフェスタ(長居競技場)	利用者 8名	職員 2名
11/4	町民文化祭	利用者 5名	職員 2名
11/21	ナイスハートスポーツ大会	利用者 10名	職員 3名
12/14	昼食、買物	利用者 1名	職員 1名
1/1	初詣（日根神社）	利用者 2名	職員 1名
1/3	初詣（日根神社）	利用者 8名	職員 3名
1/3	カラオケボックス	利用者 7名	職員 2名
2/7	グループ外出（泉南イオン）	利用者 7名	職員 3名
2/7	グループ外出（ハーベストの丘）	利用者 8名	職員 3名
2/7	グループ外出（白浜）	利用者 8名	職員 3名
2/22	入浴、夕食（虹の湯）	利用者 2名	職員 1名
2/27	入浴、夕食（美笹の湯）	利用者 2名	職員 1名
3/3	買物（日根野イオン）	利用者 1名	職員 1名
3/6	関西空港	利用者 1名	職員 1名
3/11	みさき公園	利用者 2名	職員 2名
3/26	買物、夕食	利用者 2名	職員 1名

今年度も個人のニーズを中心に、小グループでの外出に取り組んでいきました。できる限り本人の希望に添えるような場所を選び取り組んでいきました。個々を中心とした少人数、1対1での外出に取り組む事で、情緒の安定をはかっています。

③ 五郎寿司様 来園していただき、美味しいお寿司を食べさせていただきました。

④ インフルエンザ発症の有無

1月27日にインフルエンザA型を発症しました。次々に感染し、8名の方がかかりました。

1人目が出た時にすぐに個室対応をしましたが、感染を防ぐことができませんでした。その後も予防として、手洗いの徹底と昼食前と夕食前には緑茶でのうがいをしています。

⑤ 怪我や病気の状況

(ア) 6月27日入院し6月28日、迷走神経刺激装置の手術をおこなう。7月2日退院し7月3日帰園しました。現在機械の調子もいいようで、時々発作はあるものの、以前に比べ軽くなり回数も減ったようです。

(イ) 9月27日、右側の動きが鈍い様子から通院すると、脳梗塞とのこと。入院する。10月31日退院されました。退院してきたときは、移動は車椅子でバルーンを付けていましたが、日常生活がリハビリとなり、現在では、バルーンもとれ、手すりを持つての自力歩行も可能なまで回復されています。

- (ウ) 平成 24 年 2 月に左乳癌のため、左乳房全摘出術をうけた方も経過順調で、転移もみられていません。
- (エ) 膝が炎症をおこしやすく、痛みや高熱がでる人がいますが、様子をみながら本人の調子に合わせて行っています。車いすを使用、居室静養する事が度々ありました。

⑥ 利用者の生活状況

- (ア) 後見人の申請をしていました 2 名が、正式に後見人が決まりました。新たに 2 名も決まり、現在 6 名の利用者の方に後見人、後見人補佐がついています。家族が高齢になり、まだ数名の方も後見人が必要になってきている状況です。
- (イ) 便の出にくい人が多く、起床時にコップ 1 杯の白湯を飲む、歩行にも取り組んでいますが、改善されない人が多く、薬での調整が必要になっています。便が溜まると食欲が落ち、胃腸の動きも悪くなり嘔吐をすることもありました。
- (ウ) 利用者同士のトラブルは多く、他人との距離感が上手につくれないため口喧嘩から始まり、物投げ、粗暴行為にまでつながる事もありました。
- (エ) 秋以降、原因が明確でない傷やアザが多く発見されました。見守ることはもちろんのこと、対策の一つとして、定期的に爪切を実施。
- (オ) 一年を通して、緊急の短期入所利用者や長期の短期入所者が多く、その利用者が入所者やスタッフとの関係がなかなか作れず、しんどい思いをしていたようです。

6 活動グループ (日中活動)

① メンバー

男性・・・17名 女性・・・12名 短期利用者・・・2名 計 31名

② 職員

男性・日中活動専門員 1名 日勤・遅出勤務者
女性・日中活動専門員 1名 早出勤務者

③ 目標

- (ア) 自分にあった活動を選択し、自分の力で活動に取り組み、仕事の精度を高める。
- (イ) 根気よく活動に取り組み、落ち着いて作業に取り組む。
- (ウ) 気分転換と体力維持を目的に、歩行を取り入れる。
- (エ) 内職の仕事を通じて地域社会への移行を考える

④ 活動内容

屋内・・・不燃系リサイクル・内職 (ボールやザルにバーコードシールとラベルを貼る)・蝶番
屋外・・・缶つぶし・歩行

⑤ 活動の様子

年間を通して、仕事に取り組むことが出来ました。不燃系の入荷が一時期止まりましたが、その後順調に入荷して利用者さんも積極的に取り組んでくれるため、仕事のペースが速くなりました。

内職も軌道に乗り、3名で仕事をしていますが、やりがいを持って仕事に取り組んでくれています。

マンツーマン対応の必要な方も活動に少しずつ慣れ、2～3名の方を除いては自分のペースで取り組んでいます。グループのメンバーも増え、作業室が手狭になり、思うように場所の確保が出来ていないのが現状です。

⑥ 今年度収益

今年度の収益としては、空き缶や段ボールの単価の変動で減収となりました。新しい仕事を開拓して、仕事が増えましたが、残念ながら全員が取り組めなく一部の人の仕事になっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不燃系 リサイクル													
内職							5,869					6,342	12,211
蝶番													
空き缶 段ボール							1,017					511	1,528
合計							6,886					6,853	13,739

⑦ 収益分配金

今年度は給料日を設定して僅かではありますが、収益金を給料として分配しました。支払いが滞る業者さんもあり定期的に給料として分配することが出来ませんでした。

内職は仕事が切れることなく常時取り組んでいます。給料もある程度溜まってから分配しています。

7 生活グループ（日中活動）

① メンバー

男性・・・9名 女性・・・13名 計 22名

② 職員

男性：早出勤務者 女性：日中活動専門員 2名・日勤・遅出勤務者

③ 目標

活動場所に参加する事で、自分の環境をつくる。

④ 目的

- ・活動意欲の向上 ・心身機能低下の防止、維持 ・体力維持と気分転換
- ・リラクゼーションを重視し、心地よい時間と空間を提供する。

⑤ 活動場所

1階多目的室、3階多目的室、和室、他

⑥ 活動内容

- ・ 足浴
- ・ 音楽活動、ビデオ鑑賞
- ・ 歩行（近隣の公園・廊下・園庭）
- ・ 軽運動（ボール遊び、風船遊び）
- ・ おやつ作り
- ・ 季節の行事
- ・ レクリエーション
- ・ ドライブ
- ・ 利用者とスタッフのマンツーマンでの行動
- ・ むり絵
- ・ パズル
- ・ カラオケ

⑦ 活動の様子

このグループ編成になって2年が経ち、少しでも日中活動の充実をと力をいれましたが、なかなか満足できる活動になっていないのが現状です。利用者の方には少しでも興味、関心を示してもらえるプログラムを考え月間予定、週間予定として計画を立てる事で事前に準備しましたが、プログラム不足でのマンネリ化もでてきました。ただ、マンネリ化になりつつある内容は、利用者が活動内容を理解していただいているため、安心して落ち着いて取り組める内容となったことも事実です。

活動の内容よりも自分の場所、そして活動場所としては定着できてきたようで、時間通りに参加できなくても、遅れてきたり、途中で退室したりしながらも、活動場所を何度も出たり入ったりしながら参加してくれていました。

8 医務業務

定期薬の種別	男	女	合計
内科薬のみ服用	2	4	6
精神科薬のみ服用	17	10	27
内科精神科薬服用	6	7	13
服薬なし	3	3	6
合計	28	24	52

(2) 園内受診者

	平成24年										平成25年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
永山Dr受診者数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141
森脇Dr受診者数	37	37	37	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	453
オーラルケア回数	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	46

(3) 定期通院者(永山Dr. 森脇Drの診療を除く)

氏名	通院の状況	科名	病名	備考
YA	1回/2ヶ月	内科	胃潰瘍	
"	1回/3ヶ月	眼科	老人性白内障	
AI	1回/年	婦人科	卵巣腫瘍	
MI	1回/月	眼科	白内障・逆まつげ	
"	1回/3ヶ月	整形	脳性まひによる歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/週	石臼鍼灸	"	歩行訓練
MI	1回/3ヶ月	内科	ナッシュ肝	しゃ血
AU	1回/月	脳神経外科	迷走神経刺激装置難治性てんかん	
"	1回/3ヶ月	眼科	白内障・緑内障	
HO	1回/3ヶ月	整形	脳挫傷・視力障害による歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/週	石臼鍼灸	歩行訓練	
MO	1回/月	眼科	アレルギー性自己免疫疾患/角膜潰瘍	
YK	1回/2ヶ月	内科	間質性肺炎	
JK	1回/1~2ヶ月	外科	乳がん術後	
YK	1回/6ヶ月	歯科口腔外科	舌白板症	
YK	1回/月	漢方外来	アトピー性皮膚炎	
KK	1回/3ヶ月	整形	脳性まひによる歩行障害	石臼鍼灸リハビリ同意書
"	4回/1週間	石臼鍼灸	"	歩行訓練
KK	1回/1~2カ月	内科	十二指腸炎・胃炎	
SN	1回/月	内科	高血圧	
"	1回/2ヶ月	泌尿器科	排尿障害	
KN	1回/2ヶ月	内科	大動脈弁閉鎖不全・不整脈	
"	随時	神経内科	小脳萎縮	
MH	1回/月	脳外科	右半身麻痺	
"	1回/月	泌尿器科	排尿障害・慢性膀胱炎	
AF	随時	耳鼻科	慢性中耳炎	異物を入れる
HM	1回/2ヶ月	内科	糖尿病・高血圧	
HM	1回/3ヶ月	整形	変形性膝関節症・両半月板脱臼	膝サポーター使用
KY	1回/3ヶ月	整形	第2~3椎間板ヘルニア・心因性筋	
"	1階/6ヶ月	内科	ペースメーカー点検	
"	1回/月	泌尿器科	心因性排尿障害	

(4) 通院状況

科名	受診者数	通院日数
内科(定期含)	33	94
外科(定期含)	24	90
整形外科	13	72
脳外科	4	18
精神科	1	1
歯科	6	61
眼科	7	28
耳鼻科	18	28
皮膚科	11	23
神経内科	0	0
婦人科	1	1
泌尿器科	4	28

(5) 入院状況

氏名	科名	入院期間	内容
AU	脳神経外科	6/27~7/2	左頸部迷走神経刺激装置植込み術
KN	内科	9/20~10/6	右肺炎
MH	脳外科	9/27~10/3	左脳梗塞
KH	精神科	11/26~4/	心因反応・変薬治療

(6)救急時間外(休日・救急)通院

月 日	氏 名	病 院 名 (科名)	症 状 (病名)
8月24日	JK	佐野記念病院脳外科	後頭部打撲
10月30日	YM	救急救命センター	頭部腹部外傷
1月20日	YK	永山病院	転倒
1月26日	JK・YK	永山病院	インフルエンザA
1月27日	EH・MI	"	"
"	JK・NS	"	"

(7)検査

検 査 項 目	受診者数	受診日数	検 査 項 目	受診者数	受診日数
検 血	51	126	C T	3	4
胸部レントゲン	11	12	胃ファイバー	1	1
その他レントゲン	7	20	大腸ファイバー	0	0
脳波	0	0	MRI	0	0
エコー	12	17	検便	9	10
心電図	4	5			

(8)各種検査

検 査 名	実 施 日	人 数	実 施 場 所
胸部レントゲン(65歳以上・他)	10月10日～3月26日	7	永山病院・住民検診
ぎょう虫検査	7月 6日～8月18日	48	泉佐野保健所
婦人科検診	4月21日～8月25日	20	永山病院

(9)毎月の通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	7	6	12	9	8	9	12	8	9	8	4	2	94
外科	7	7	14	3	10	1	2	2	26	6	2	10	90
整形外科	0	2	0	5	7	6	10	10	10	5	9	8	72
脳外科	1	1	1	3	3	1	1	2	1	1	1	2	18
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
歯科	3	2	3	1	6	6	7	9	7	12	3	2	61
眼科	3	2	1	2	2	5	1	3	5	0	3	1	28
皮膚科	1	1	0	0	3	2	0	0	11	4	0	1	23
耳鼻科	2	7	1	0	0	1	5	0	0	9	3	0	28
泌尿器(婦人科)	2	0	2	2	3	3	2	4	2	3	3	3	29
神経内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エコー	1	5	0	3	2	1	1	2	0	0	0	2	17
胸部レントゲン	0	0	1	1	0	1	1	2	1	1	0	4	12
その他レントゲン	0	1	0	4	5	3	1	4	1	0	0	1	20
心電図	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	5
検便	1	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	2	10
胃透視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃カメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
大腸カメラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
MRI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C T	1	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	4
脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検 血	5	37	17	1	5	2	3	37	9	4	4	2	126
	35	71	58	34	57	42	46	84	83	54	32	43	639

年間外来通院(定期通院 検査通院含む)639日(延べ日数)となる。

感染症について

1月末利用者1名からインフルエンザA発症後8名の2次感染を認めた。他、3名が予防薬を飲み6日で終息。感染者隔離以上に同室者の予防薬による2次感染予防が早期に必要であった。

入院について

てんかんにて帰宅や入退院を繰り返していた利用者が、迷走神経刺激装置により日中の臥床や発作の減少がみられ生活の質が向上する。脳梗塞により右半身麻痺の後遺症が残った利用者は、日常生活リハビリ継続によりつかまり歩行、独り立ち、身辺整理ができるようになる。肺炎球菌ワクチン接種者であったが肺炎にて入院加療となる。利用者によって外傷を受けた利用者が死亡する事故が起きた。利用者を変薬目的にて入院治療を受けるも、思いやりのある統一した支援が求められる。

個別通院状況(男性) (H24年4月~H25年3月)

	内科	外科	整形 外科	脳 神経 外科	精神科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿 器科	神経 内科	胸部 X-P	他の X-P	エコー	心電図	MRI CT	胃・ 腸 カメラ	検血	脳波	検便	計
KI	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	9
TI	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
HO	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
MO	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10
SO	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
KK	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	5
YK	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
KS	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
MS	3	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	15
NT	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
KT	4	0	9	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	3	0	0	21
ST	0	0	0	0	0	9	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	13
SN	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	2	0	0	0	3	0	1	18
TN	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3
KN	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	6	0	0	16
MN	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	12
KH	0	4	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	14
YH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3
AF	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7
MF	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
KH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
TM	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
NM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
YM	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	8
KM	1	2	1	0	0	0	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	14
KM	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10
SY	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
KY	4	3	5	0	0	0	0	0	0	14	0	1	2	3	2	0	0	1	0	0	35
計	44	32	19	0	0	18	8	6	9	21	0	6	3	8	4	0	0	60	0	4	242

個別通院状況(女性) (H24年4月~H25年3月)

	内科	外科	整形 外科	脳 神経 外科	精神科	歯科	眼科	耳鼻科	皮膚科	泌尿 器科	神経 内科	胸部 X-P	他の X-P	エコー	心電図	MRI CT	胃・ 腸 カメラ	検血	脳波	検便	計
YA	6	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	19
AI	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	9
MI	0	0	5	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	18
MI	5	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	14
AU	1	0	0	12	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	19
MO	3	2	1	1	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	14
YK	8	0	29	0	0	0	0	1	0	0	0	1	11	1	0	1	0	8	0	0	60
YK	0	3	4	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1	15
JK	2	18	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3	0	2	0	4	0	1	34
KK	0	4	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	9
NS	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	7
KS	0	6	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	13
FT	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	8
HT	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	8
EN	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
MH	1	1	5	4	0	0	0	1	0	6	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	22
SF	2	3	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	22
MF	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	8
YY	1	1	0	0	0	26	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	38
EH	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7
FM	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
HM	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	6	0	0	17
HM	0	3	6	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	15
KY	2	5	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	13
計	50	58	53	18	1	43	20	22	14	8	0	6	17	9	1	4	1	66	0	6	397

9 給食業務

① 保健給食会議

利用者（男女各複数名）と支援員より男女各1名選ばれた給食委員と、園長、サービス管理責任者、看護師、調理師（ナニワフード㈱）、栄養士（ナニワフード㈱及び当園）、ナニワフード㈱管理担当者によって月に一度実施。

今年度の利用者給食委員は男女各複数名が給食会議ごとに各1~2名の出席となりました。

この会議では主に利用者の食事への希望を知らせていただき、利用者の食事と健康面への配慮が話し合いました（ここで出た献立への希望は、可能なものから次月献立に取り入れていました）。

それ以外にも給食にかかわることはここで話し合います。

給食委員（利用者）の主な仕事は保健給食会議で各フロア利用者からの要望・提案等を伝えること、他の利用者のパンの選択を手伝うこととしました。

② 嗜好調査

年2回（夏期と冬期）料理写真や料理本等を使用し、利用者さんに食事アンケートを実施。

ご自身で回答できない方は、職員が普段の状況から好み等を知らせてくれました。

その結果、提供可能なものは直ちに（次月献立）取り入れてきました。

③ 選択食

自ら選択・決定することを目的（健康面を考慮して決定出来るようになることが理想）とし、結果を尊重しました。

◇ 昼食2種より選択

ほぼ月一回。

職員会議に合わせて行われる（出勤職員数が多いため）、昼食2種のうち実物を見て各利用者どちらかを選択。

◇ 菓子・調理パン

ほぼ月二回。

給食委員が写真入りパンメニューを用いて、各利用者がパンを選拓。

④ 季節の行事食

季節の行事などにあわせて提供している食事。

可能な範囲で一般家庭の季節の行事と同様にしたいと考えて実施。

調理従事者は日々、衛生面に細心の注意を払いながら、味付け・食べやすさ・見た目に注意を払って調理しています。

⑤ 食事に配慮の必要な利用者の状況

（ア）病名、人数と食事における注意点

大動脈閉鎖不全 1名 エネルギー制限、タンパク質不足に注意

肝炎ウィルス感染者 6名 ミネラル類不足注意、過剰エネルギー摂取による脂肪肝予防、鉄摂取量過剰に注意、タンパク質不足に注意

糖尿病・肥満 11名 エネルギー制限

横隔膜ヘルニア 1名 消化吸収しやすい物、刻み食

視覚障害一級 1名 自助食器使用（※自助食器は他にも使用している方あり）

上記含め摂取量を定めたほうが良いと考えられる方々22名は、ご飯を盛り切りで提供しています。

（イ）上記以外の個人対応

一人櫃、専用茶碗 1名

補助食個人購入 5名

※急な体調の変化等に合わせて食事を提供しています。

⑥ 栄養ケアマネジメント

前年度より開始、以前より行ってきたことをはっきりと書類にしたともいえます。

利用者さん一人ごとにご本人・ご家族の健康に対するご希望をうかがい、ケアの目標を決め達成するように努めています。

10 行 事

行事の実施状況は下表のとおりです。

新たな試みでこれまでの療育園まつりを一新し、「和光福祉会 第一回地域交流フェスティバル」として南小学校をお借りして開催、多くの方に参加して頂きました。過去最大規模で行ない好評ではありましたが、スタッフの手が足りなかったことや、夏場の開催で空調が無い体育館での開催ということで体力的にも厳しく、反省点もありました。

個々の OP 外出では、1泊、1日外出を取り入れ、盆踊りやコンサートなど地域や季節の行事に参加し、個々の様々なニーズに対応しました。

そのほか、保護者の方々との交流を深めるため、合同歩行訓練を開催。永楽ダムまで歩行し、公園でお弁当を食べて楽しみました。

また、さんえす企画行事として、民謡演奏、太極拳などを披露していただきました。

(※注さんえすとは、法人内でのボランティア開拓などに取り組んでいる組織の名称です。)

<行事の実施状況>

日 付	行 事
5月14日(月)	フロア外出(園内害虫駆除)
7月22日(金)	和光福祉会 第一回 地域交流フェスティバル
8月4日(土)	自由が丘フェスティバル
8月16日(木)	関西聖地霊園 夕涼み会
9月9日(日)	熊取町町民体育大会
9月12日(水)	さんえす企画 民謡
9月24日(月)	南小学校運動会
10月18日(木)	フロア外出(園内害虫駆除)
10月27日(土)	スポーツフェスタ
11月4日(日)	熊取町町民文化祭
11月18日(日)	合同歩行訓練
11月24日(土)	ナイスハート運動会
12月27日28日	大掃除・年末行事
1月10日(木)	新年会
2月7日(木)	全員外出(日帰り)
3月11日(月)	さんえす企画 太極拳

11 クラブ活動

茶道クラブ	講師 : 平川輝子氏 (裏千家)、岡保美氏 クラブ員 : 12名参加 活動日、内容 : 毎月第2火曜日実施
ヨーガ	講師 : 杉山和孝氏 クラブ員 : 希望者 活動日、内容 : 毎月第3火曜日実施
歌体操	講師 : 西川美代子氏、竹中葉子氏 クラブ員 : 希望者 活動日、内容 : 毎月第2水曜日
色ワーク	講師 : 成田イクコ氏、黒岩徳子氏 クラブ員 : 10名他希望者 活動日、内容 : 毎月第1水曜日実施
華道クラブ	職員 : 2名 クラブ員 : 10名 活動日、内容 : 今年度4回実施
カラオケクラブ	職員 : 2名 クラブ員 : 10名 活動日、内容 : 月1回実施
家庭科クラブ	職員 : 2名 クラブ員 : 10名 活動日、内容 : 季節のおやつ作り
<p>講師の方にご指導いただくものや利用者主体で行うものなど、クラブごとに様々な形で取り組みました。</p> <p>ヨーガ、歌体操などは楽しく体力作り、ストレッチなどを行いました。</p> <p>華道Cでは町民文化祭に出展、茶道Cはお手前の練習をし、その成果として町民文化祭でお茶席を出店するなどの活動を行いました。</p> <p>色ワークCでは講師の先生にアドバイスをいただく、家庭科Cでは、スタッフとともに楽しくおやつ作りをするなど、普段の日中活動ではできないことを取り組みました。</p>	

12 実習受け入れ状況

社会福祉実習

四天王寺大学	11/12-11/18	男性 1 名
南海福祉専門学校	11/26-12/27	男性 2 名、女性 2 名
大阪社会福祉専門学校	7/2-7/19	男性 1 名
	1/31-2/17	男性 1 名

施設実習（幼児教育）

常磐会短期大学	6/4-6/16	女性 2 名
	9/3-9/15	女性 2 名
	11/5-11/17	女性 2 名
南海福祉専門学校	10/1-10/11	男性 1 名、女性 1 名
	10/12-10/22	女性 1 名

介護体験

相愛大学	5/21-5/25	女性 2 名
大阪体育大学	11/26-11/30	女性 2 名
	12/10-12/14	女性 2 名
	1/14-1/18	女性 2 名
	2/18-2/22	女性 2 名
	3/4-3/8	女性 2 名

見学実習

大阪体育大学	7/3	男性 1 名、女性 1 名
泉佐野市立長南中学校	11/15	6 名

13 ボランティア受け入れ

◎ 法人フェスティバル

ダイアナ	: 6名	すばる会	: 2名
南海福祉専門学校	: 3名	大阪社会福祉専門学校	: 2名
その他	: 6名		

法人職員及び利用者家族は除く

◎ さんえす企画（さんえすとは、ボランティア受け入れの調整や企画を検討する法人内組織）

民謡・玉すだれ：チューリップ（9月12日）
太極拳：龍友会（3月11日）

◎ 日中活動

2名の方が、それぞれ週1回程度参加

◎ 茶道クラブ

毎回1～2名 月1回実施

◎ 色ワーク

毎回1～2名 月1回実施

◎ ダイアナボランティア

毎回2～3名 月1回実施

◎ 歌体操

毎回2名 月1回実施

◎ ヨーガ

毎回1名 月1回実施

◎ 熊ちゃん工房

・修理、剪定など、必要に応じて来ていただく

◎ 美容ボランティア

毎回6～8名 隔月1回実施

◎ グループ活動（相談室）

毎回1～2名 月1回実施

◎ 社会福祉協議会ボランティア体験プログラム

・参加者なし

※ 各クラブ活動などの定期的な活動については、療育園の業務都合やボランティアの方の都合により、中止やボランティアの方の欠席などがありました。

※ 五郎寿しさんが4月8日(日) 来園。利用者、職員、ご家族にお寿司を提供いただきました。

14 地域交流

① 地域の南小学校との交流

7月22日

南小学校にて「和光福社会 第一回地域交流フェスティバル」を開催。
小学生や教員にも参加して頂きました。

9月24日

南小学校運動会の行進や種目に利用者6名、職員2名で参加。

10月11日

南小学校芸術観賞会において松本 孝弘氏のコンサートを利用者6名、職員2名で鑑賞。

3月8日

多目的ホールにて、3年生全員が来園し、音楽発表会を行っていただき、鑑賞する。

② イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン活動

4月10日	利用者2名	職員1名
5月11日	利用者2名	職員1名
6月11日	利用者3名	職員1名
7月11日	利用者2名	職員1名
9月11日	利用者3名	職員1名
10月11日	利用者2名	職員1名
11月11日	利用者2名	職員1名
12月11日	利用者3名	職員1名
2月11日	利用者2名	職員1名

活動内容、毎月11日に日根野イオンで幸せの黄色いレシートキャンペーンPRを実施しています。黄色のレシートを投函された分の金額の1%が還元されます。

年に1回贈呈され、頂いた助成金で必要な品物と交換しています。

今年度も地域の皆様の協力で88,400円（購入品未定）頂きました。

15 利用者検索

0件

16 事故

① 誤薬 5件

- H24.7.08 8:10頃、朝食後の投薬の際、他利用者の薬が挟まっていたので、一緒に飲ませる。
H24.7.09 20:30頃、眠前薬を配布する際、他利用者の薬が重なっていたので一緒に飲んでしまう。
H24.8.09 13:00頃、通院に時間がかかり、昼食が遅れて食べる。その際、医務室の薬を飲ませる。

支援部へ連絡が遅れ、支援部の方も飲ませてしまう。〈職員間の連絡ミス〉

- H24.10.20 12:15頃、他利用者の薬を飲ませてしまう。
H25.1.31 21:00頃、他利用者の薬を飲ませてしまう。

誤薬に関しては、スタッフの不注意によるものなので、全職員に投薬時はゆっくりと本人確認して薬の名前も必ず確認してから最後まで飲んだのかどうかを見届ける。

② 転倒 3件

- H24.8.24 19:45頃、入浴中に他利用者に押されて転倒。
H25.1.17 17:30頃、階段を踏み外し2段目から転倒。大事に至らず。
H25.2.07 10:30頃、公用車内で、ブレーキをかけた際に後部座席より転倒。

③ トラブル 4件

- H24.6.05 05:30頃、M氏が3Fの娯楽室のテレビに拘りH氏がイライラして殴りかかる。
H24.6.22 13:10頃、O氏とH氏が言い争いになりそれを見ていたK氏がO氏を押し倒す。
H24.6.23 06:00頃、M氏が自室で大声を出した為、O氏が文句を言ったのでトラブルになる。
H24.6.30 11:45頃、K氏がM氏の物を取ろうとしたので、M氏が止めに入ったので腹を立て傘で突く行為があった。左頬に突いたアザがあり。

④ 死亡事故 1件

- H24.10.30 11:15頃、興奮状態の利用者と遭遇、事故となり死亡に至る。

17 研修

全国知的障害者施設長会議 H24. 6/4~5 東京 K.M(施設長)
経営協研修 H24. 7/13 大阪 K.M(施設長)
全国社会福祉施設経営者大会 H24. 9/24~26 静岡 K.M(施設長)
生活支援部会全国大会 H24. 9/11~12 千葉 K.M(施設長)
府社協研修 H24. 10/30 鳴門 K.M(施設長)
全国知的障害者福祉関係職員研修 H24. 10/3~5 熊本 D.M・Y.N(支援員)
障害者支援施設部会全国大会 H25. 2/6~7 東京 D.M(支援員)
社会福祉施設経営者協議会近畿ブロックセミナー H25. 2/8 奈良 T.H(理事長)

○大阪府社会福祉協議会関係研修

- ・高次脳機能障害支援関係職員研修 H24. 6/20 障害者虐待防止・権利擁護研修 H24. 8/8
8/24 T.I(サービス管理責任者) N.F(支援員)
- ・「フードバンク」シンポジウム H24. 9/25 同和研修 H24. 10/11 府社協会計研修H24.
9/11 第三者評価研修H24.11/12 府社協会計研修H24.9/11 府社協従事者研修 H25.
3/11 H.M(副事務長)
- ・指導者リーダー育成研修 H24. 5/25 成人施設課程応用コース H24. 8/20 9/10
スーパービジョン実践者養成ゼミナール H24. 10/25 11/9 12/20 2/13 D.M(支援
員)
- ・近弁連高齢者・障害者の権利に関する研修 H24. 9/7・8 ファシリテーション入門 H24.
10/29・30 11/9 福祉のサービスを必要とする罪を犯した知的障害者等の地域生活支援を行
う施設職員等研修 H24. 12/5・6・7 サービス管理責任者研修 H25. 1/18・21・22
M.M(支援員)
- ・施設職員の心のケアを考える研修 H24. 7/17・23 広報紙研修 H24. 9/6・13 知的障害・
発達障害のある人のアンダーコントロールトレーニング研修 H24. 12/9 K.H(支援員)
- ・新任ボランティアコーディネーター基礎研修 H24. 7/24 行動障害へのアプローチ H24. 9
/15 福祉職員中堅研修 H24. 11/6・14 N.O(支援員)
- ・青年期・成人期の発達障害者への支援のあり方(こだわり行動への対応) H25. 3/5 Y.T(支援員)
- ・利用者支援研修 H24. 9/3・18 N.N(支援員)
- ・新人職員のためのサービスセミナー H24. 4/18 面接相談援助技術基礎講座 H24. 8/10
R.T(支援員)
- ・新人職員のためのサービスセミナー H24. 6/5・6 F.M(支援員)

○医務関係研修

- ・看護師研修 H24. 11/15 K.H(看護師)

○栄養関係研修

- ・大阪府栄養士会主催研修 H24. 4/15・28 7/14~15 8/4・12 9/23 10/22
11/26 12/12・15 H25. 1/14・19 2/16 3/2・16・20 泉佐野保健所管内給食研究会
H25. 2/28 臨床栄養の基礎・合併症の管理 H24. 11/17 抗老化・抗疲労食の研修 H24.
12/20 災害時危機管理対策充実研修会 H25. 1/24 S.F(管理栄養士)

○相談支援事業・コーディネーター関係研修

- ・相談支援従事者初任研修 H24. 9/27 10/1・4・5 11/8 機関研修 H24. 8/8 10/2
12/12 CSWスキルアップ研修 H24. 10/22 11/5 福祉のサービスを必要とする罪を
犯した知的障害者等の地域生活支援を行う施設職員等研修 H24. 12/5・6
障害者相談支援事業全国連絡協議会コーディネーター研修会 H25. 1/28~29 名古屋
R.T(相談員)

18 避難訓練

日付	時間帯	集合場所	内容
4/27(金)	11:00	園庭	日中活動からの避難
5/29(火)	9:30	玄関	フロアからの避難
6/29(金)	11:20	園庭	日中活動からの避難
7/27(金)	9:20	玄関	フロアからの避難
8/30(木)	20:15	玄関	夜間想定・フロアからの避難・ 自主通報訓練・消防署報告訓練
9/28(金)	11:20	園庭	日中活動からの避難
10/30(火)	9:25	玄関	フロアからの避難
11/13(火)	13:30	園庭	日中活動からの避難・消防署立会い訓練
12/28(金)	9:30	園庭	日中活動からの避難
2/28(木)	9:30	玄関	フロアからの避難

※ 防災計画（震災72H×69名対応）策定済み

※ 消防署立ち入り検査での指摘事項なし

19 広報活動

- 配布物
「くまちゃんつうしん」・「相談室だより」
- 発行日
毎月 1回
- 配布先と配布部数

■ 「くまちゃんつうしん」

手配り		郵送	
配布先	部数	配布先	部数
朝代地区	656	施設関係	24
学校関係	76	行政関係	93
みくまホーム	5	学校関係	8
若葉ホームⅠ	3	企業関係	54
若葉ホームⅡ	3	医療関係	6
職員（パートタイマー込み）	35	牧野ホーム	1
		保護者	45
		その他	248
計	778	計	479
合計			1257

■ 「相談室だより」 関係機関へ手配り

配布先	部数
熊取町内小・中学校	80
熊取町教育委員会	5
佐野支援学校	21
熊取町内保育所・通園	180
熊取町こども家庭課	5
合計	291

20 短期入所

(1)短期入所 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
件数	10	16	19	10	13	10	12	17	16	17	9	15	164
実人数(男)	4	4	6	5	4	5	4	6	9	7	3	4	61
実人数(女)	2	7	5	2	4	3	4	4	3	4	3	4	45
延日数	73	100	96	105	93	96	113	99	115	124	75	92	1181
一人平均利用日数	1.67	1.45	1.73	1.43	1.63	1.25	1.5	1.7	1.33	1.55	1.5	1.88	1.547
一日平均利用人数	2.43	3.23	3.2	3.39	3	3.2	3.65	3.3	3.71	4	2.68	2.97	3.236

(2.1)日中一時支援 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
件数	45	52	42	49	57	41	41	59	59	42	37	61	585
実人数(男)	7	8	8	8	8	8	7	8	8	7	6	9	92
実人数(女)	2	4	1	2	3	1	2	3	3	3	3	3	30
一人平均利用日数	5	4.33	4.67	4.9	5.18	4.56	4.56	5.36	5.36	4.2	4.11	5.08	4.795
一日平均利用人数	1.5	1.68	1.4	1.58	1.84	1.37	1.32	1.97	1.9	1.35	1.32	1.97	1.603

(2.2)日中一時支援 時間別利用状況(成人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	18	17	14	18	19	13	15	17	13	9	13	19	185
4～8時間以内	5	6	4	4	4	4	4	2	6	3	3	5	50
8時間以上	2	2	1	1	3	1	1	2	2	1	1	1	18
計	25	25	19	23	26	18	20	21	21	13	17	25	253

(2.3)日中一時支援 時間別利用状況(児童)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	7	8	7	6	4	5	7	7	3	8	5	6	73
4～8時間以内	10	17	15	13	22	15	14	30	29	19	15	24	223
8時間以上	3	2	1	7	5	3	0	1	6	2	0	6	36
計	20	27	23	26	31	23	21	38	38	29	20	36	332

21 大阪府障がい児等療育支援事業、泉佐野市・熊取町・田尻町基幹相談支援センター事業

☆24年度実績《大阪府障がい児等療育支援事業》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在宅重症心身障がい児(者)訪問支援事業 (実人数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 (0)
在宅障がい児訪問支援事業 (実人数)	0	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	1	6 (1)
障がい児外来相談支援事業 (実人数)	7	6	5	1	8	10	5	5	9	5	5	5	71 (13)
施設支援指導事業 (実件数)	0	9	1	1	0	2	0	1	0	1	0	0	15 (12)

☆24年度大阪府障がい児等療育支援事業にかかる登録者について

(1)登録者数

登録者数 平成24年度末現在 17人

(2)登録者の障害種別

	身体障がい児者									
	18歳未満					18歳以上				
	視覚	聴覚	肢 体 不 自 由	内部	重複	視覚	聴覚	肢 体 不 自 由	内部	重複
重度/1・2級	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
中軽度 それ以外	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

	知的障がい児者		重症心身障がい児者	
	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上
重度/1・2級	1	4	0	0
中軽度 それ以外	1	11		

☆グループ活動

活動日	活動内容	参加者	ボランティア
平成24年4月8日(日)	花見&茶話会	5	1
平成24年5月13日(日)	水陸両用バスに乗ろう&夕食会	5	2
平成24年6月10日(日)	ハーベストの丘に行こう	4	2
平成24年7月	(活動なし)	—	—
平成24年8月12日(日)	茶話会&おやつ作り	5	2
平成24年9月9日(日)	バーベキューに行こう	9	1
平成24年10月14日(日)	茶話会&ハロウインの飾りを作ろう	4	2
平成24年11月11日(日)	クラフト体験(キャンドルづくり)	4	2
平成24年12月9日(日)	忘年会	8	1
平成25年1月13日(日)	茶話会&初詣	4	1
平成25年2月24日(日)	温泉に行こう	5	2
平成25年3月10日(日)	茶話会「一年間の感想、来年度の活動内容について」	4	2
合計		57 (10)	18 (2)

※()内は実人数

☆色ワーク活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 (年間実人数)	2	1	1	1	3	1	1	1	1	1	—	1	14 (3)
講師数	2	1	1	1	1	1	2	1	1	0	—	1	-2 ()内は実人数

※()内は実人数

☆24年度実績<泉佐野市・熊取町・田尻町基幹相談支援センター事業>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ブランチ (熊取療育園相談室)	熊取町	56	56	51	28	55	51	50	40	30	17	23	33	490
	(実人数)													(46)
	泉佐野市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	9	14
	(実人数)													(6)
	田尻町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	(実人数)													(2)
基幹相談支援C (りんくる)	熊取町	3	1	0	5	8	2	1	7	7	4	2	2	42
	(実人数)													(19)
	泉佐野市	7	11	19	19	23	8	27	16	26	26	29	24	235
	(実人数)													(104)
	田尻町	2	4	2	2	2	1	0	4	3	2	0	0	22
	(実人数)													(17)

☆泉佐野市・田尻町・熊取町障害者自立支援協議会(わ∞ねっと)

	開催日時
全体会	7/27、2/25
定例会	6/26、10/23、3/12
ケアマネ推進部会	5/2、21、8/21、11/13、2/12
地域移行部会※	6/12、9/25、12/25、
就労支援部会	8/10、10/12、2/8
権利擁護部会※	7/17、9/11、12/11、3/19
こども部会	7/20、8/29、10/19、12/14、3/15 (こども部会準備会を含む)
子ども事務局	8/8、10/5、11/14、28
事務局会議	4/2、16、5/2、7、21、6/4、18、7/2、4、5、17、8/6、20、9/3、18、10/2、5、15、17、11/5、19、12/3、17、1/7、21、2/5、20、3/4、18
わ∞ねっとフェスタ	12/1～2イオン日根野にて(打ち合わせ等:11/7、27、30、その他ワーキング数回)
シンポジウム	2/3泉の森ホールにて(打ち合わせ等:12/28、1/11、24、25)

☆24年度実績<特定相談支援事業>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
熊取町	計画作成	0	0	0	0	2	1	1	0	0	2	0	3	9
	モニタリング	0	0	0	0	0	2	3	4	3	2	4	4	22
泉佐野市	計画作成	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3
	モニタリング	0	0	0	0	1	2	2	2	3	3	3	3	19
岸和田市	計画作成	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3

☆実人数…熊取町:8名 泉佐野市:3名 岸和田市:1名

☆24年度実績<障害児相談支援事業>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
田尻町	計画作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4

☆実人数…2名

☆24年度実績<一般相談支援事業>

利用実績なし

☆その他

- ・泉州コーディネーター連絡会(毎月第3金曜日10:00~12:00)
- ・泉州南障がい者支援センター連絡会(毎月第4月曜日10:00~12:00)
- ・居住系事業所連絡会(隔月1回開催)
泉佐野・熊取・田尻の1市2町内にある事業所による連絡会。「居住系」の他に「日中活動系」「居宅系」「精神保健福祉」の各連絡会があり、相談支援事業所で分担して開催している。必要に応じて複数の連絡会での合同開催もあり。
- ・熊取町障がい児ネット(月1回開催)
- ・相談事業所勉強会(隔月1回開催)
24年度より、1市2町の相談支援事業所が集まって、計画作成のことなどについて情報交換。

☆傾向・課題

- ・ランチとしての相談件数が11月以降目立って減少している原因の一つに、特定相談事業への移行が挙げられる。
- ・特定相談支援事業、障害児相談支援事業は、計画作成のために事前のアセスメントや個別支援会議、作成後もモニタリング以外の訪問や電話相談など、対応は多岐にわたるが、この事業報告書に挙げる数字は、計画作成もしくはモニタリングの実施のみについてカウントしている。
- ・一見、全体的に対応件数が減少したかに思われるが、上記のような事情から、実際にはさほど減少していない。
- ・相談支援事業所としての収益を考慮すれば、計画作成をさらに進めたいところではあるが、その事務処理量と他の業務との兼ね合いから、急激に増やすことは難しいのが現状。
- ・一般相談支援事業の実績が挙げられなかったのは、わおねっとにおいてそれよりも計画作成の推進を優先させたことによる。ただし、今後仮に一般相談支援事業を必要とするケースがあったとして、現在の相談室の体制で十分に実施できるかは大きな不安を残すところであり、今後の相談室の体制について再考する必要がある。
- ・府委託の障害児等療育支援事業は、24年度末を持って受託を終了する。当初、事業そのものが終了する予定であったが、府の方針転換により、内容を変えて事業存続となった。しかし、その新たな内容と相談室や熊取療育園の現状を考慮し、25年度は受託していない。
- ・りんくるを構成する相談事業所が、24年度は4か所であったのが、25年度からは3か所となる。りんくるとしての業務軽減を検討中。
- ・放課後等デイサービスが徐々に普及してきたことで、放課後や長期休暇における障害児の過ごし方に関する相談が減少、または相談があってもそこにつなぐことができるようになった。
- ・発達障害やそれに似た様相を呈するケースについては、その分野を専門的に取り組む事業所や機関が近隣にないことから、相談を受けてもつなぎようがない現状がある。既存の事業所において、その分野にも取り組んでいただけよう、伝えていく必要あり。
- ・ケースとしてはまれであるが、服役中の相談室利用者に対して、なかなかかわりを持っていないことについて不安を覚えた1年であった。収監時に、出所後の支援のイメージを本人に伝えていても、服役中にその気持ちを維持できず、こちらの手におえない状況になりかねないことが、実際にあり得るとわかった。今後、関係機関との連携についてよく検討したい。

事業報告書
(平成 24 年度)

障がい福祉サービス事業所 つばさ
(生活介護・就労継続支援 B 型事業)

障がい福祉サービス事業所 若葉・みくま・牧野ホーム
(共同生活介護・援助事業)

社会福祉法人 和光福祉会

障がい福祉サービス事業所 つばさ

1. 提供日数

241 日

2. 利用状況

事業名	利用延べ人数	事業別年間利用率（定員 10 名に対して）
就労継続支援 B 型事業	2566 人	106.90%
生活介護事業	2666 人	111.12%
つばさ全体	5232 人	（定員 20 名に対して） 108.51%

3. 利用者の推移

就労継続支援 B 型事業

日付	氏名	摘要	利用者総数
4/30	T.S	通所停止	11 名
7/1	T.S	契約終了	11 名

現在に至る

生活介護事業

日付	氏名	摘要	利用者総数
4/1	H.T	通所開始	12 名
9/19	N.S	通所開始	13 名
10/6	H.F	契約終了	12 名

現在に至る

4. 長期欠席（連続 10 日以上欠席）

利用者名	利用事業	期間	理由
T.S	就労継続 B 型	4/30～6/30	一身上の都合
H.F	生活介護	5/6～10/6	怪我のため入院加療その後介護施設に一時入所
T.K	生活介護	9/18～10/3	体調不良のため自宅加療
K.N	生活介護	9/21～10/5	体調不良のため入院加療

5. 事故

利用者	0 件
スタッフ	0 件
車両関係	1 件（12/10 送迎帰路、乗用車との接触事故）

6. 職員の推移

M.S	6/1 より、療育園より異動、生活介護事業にて支援業務
M.H	6/16 より産休、3/31 まで育休

7. 事業所全体行事

日時	内容	場所	参加者数	備考
11/3	熊取町町民文化祭	熊取町役場	St.4名	展示・販売
12/1、2	わおねっとフェスタ	日根野イオン	各日 St.2名	展示・販売
1/4	初詣	意賀見神社 滝の池公園	利用者 20名 St.7名	
2/26	わおねっと シンポジウム	泉の森ホール	St.1名	販売

8. 研修

① 職場内研修（時間については、会議終了後に実施）

月	研修テーマ	備考 参考・引用など
4月	報酬体系の見直しについて	厚生労働省ホームページなどより
7月	障害者基本法の検証	泉州フォーラム資料より
8月	総合支援法の工程表に関して	厚生労働省ホームページなどより
9月	総合支援法について	施設長受講研修資料より
11月	虐待防止法施行に伴う振り返り	厚生労働省ホームページなどより

② 外部研修

日時	研修テーマ	出席者	備考
11/21、/22	近畿地区知的障がい者福祉協会 施設長会議	T.K	
12/5、6、7	のぞみの園主催 触法障害者支援研修	T.K	
12/14	看護師研修	K.M	
12/15、16	全国就労支援・生産活動部会	T.K	
2/6	労働セミナー	T.K	
2/18	熊取町防災講座	T.K	
2/23	泉州フォーラム	T.K	

9. 実習・見学・出張など

- ① 実習 : 6/12 大阪体育大学学生 4名 現場体験実習
10/11、12 佐野支援学校高等部 3年生 2名 付添教諭 1名
- ② 体験利用 : 6/27、28 熊取在住の男性 通所先探しの一環として
- ③ ボランティア : 4月の昼休憩時と12月のクリスマス会にオカリナ演奏のボランティアの方に来ていただきました。

④ 見学 計 8 件

	見学者	目的	備考
6/19 AM	熊取町在住の男性、家族	通所先探しの一環として	
8/20 AM	佐野支援学校保護者及び本人	進路に向けての見学	
8/20 PM	佐野支援学校保護者	進路に向けての見学	
9/10 AM	泉州支援教育研究会	施設見学	
10/4 PM	河内長野 A 施設より	面会および見学	
11/13、27PM	貝塚市在住の男性、家族	通所先探しの一環として	
1/15 PM	泉南 L 施設より	見学	

⑤ 出張など

出張の用件	実施日
大阪知的障がい者福祉協会 日中活動支援部会 施設長会	4/13 6/22 8/23 12/20
大阪知的障がい者福祉協会 日中活動支援部会 幹事会	5/30 9/20
泉州フォーラム実行委員会	4/19 7/12 9/20 11/16 1/24 3/15
わおねっと 日中活動事業所連絡会	7/11 9/12 11/14 1/17
わおねっとフェスタ 2012 およびシンポジウム 関連	6/6 6/21 7/12 11/7 1/11
熊取町団体連絡会 熊取町地域貢献委員会	7/2 8/7 12/17 2/15
熊取町地域貢献委員会 ワーキング会議	7/30 9/18 11/15 1/21

※その他、実習等の説明会に参加しています。

⑥ 地域貢献活動

熊取町地域貢献委員会の参加団体として 9/3～11、1/8～17 の大人と子供のあいさつ運動に参加、11/4 には広報活動として町民文化祭に参加。

10. 消防、防災について

消防計画に則り、避難や避難経路確認、避難誘導訓練を実施。

11. 各事業報告

別紙参照

つばさ 生活介護事業 事業報告

1. 目的

『楽しむ』をテーマに、様々な活動を通して、「日常生活」や「社会生活」の更なる能力の向上を目指します。

具体的には、「自分で考える力」・「自分の考えや気持ちを表現する力」・「他の人と共感・協調できる力」・「他の人への思いやりの心」を伸ばし、利用者の方々が「豊かな人生」を自己表現出来るよう支援します。

2. 経過

I期では、個々の課題に応じた支援を行うだけでなく、エンパワメント支援にも力を入れ、ティータイムの準備や後片付けなどを自主的な判断に委ねながら、スタッフと共に希望される利用者の皆さんに行っていた。

夏場の暑さ対策として、水分補給の案内を細目に行うことや屋外での活動時間を減らすことで、活動時に熱中症になった利用者の方はいませんでした。

II期以降では、『わおねっとフェスタ』や『町民文化祭』に向けて、個人および小グループで作品制作を行い、利用者の皆さんの作品を展示や販売することができました。

クリスマス会では、ボランティアグループのテディベアさんによるオカリナの演奏会を実施し、利用者の皆さんに爽快な演奏を聞かせていただきました。

また、利用者の皆さんは歌などを披露し、ボランティアの方々と交流を図るとともに、日ごろの活動の成果を発表することができました。

3. 活動内容

① 健康増進・維持活動

月・水・金のウォーキングでは、午前が長距離コース、午後が短距離コースとして設定し利用者に自由に選んで頂き、活動を実施。

体操では、ラジオ体操やストレッチ体操だけでなく、映像を見ながら行ったり、時には風船やボールを使いながら体操を楽しんでいただきました。

② ものづくり

自身の作品作りや季節をテーマに共同で作品の制作を実施。

	季節のテーマ	個人の作品作り
4月	端午の節句	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
5月	紫陽花	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
6月	七夕	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
7月	花火	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
8月	向日葵	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
9月	コスモス	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
10月	落ち葉アート	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
11月	紅葉	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
12月	クリスマス	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
1月	雪だるま	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
2月	雛祭り	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど
3月	桜	貼り絵、切り絵、ぬり絵、リリアン編み、パッチワークなど

③ はたらき

活動の内容は、軍手のB品を束ねる作業、不燃糸のリサイクル作業として、紙管からの糸取り及び分別、分別した紙管の潰し、空き缶リサイクル作業として空き缶の分別、空きアルミ缶潰し、牛乳パックのリサイクル作業として紙すきを行いました。

収益については、1期（4月～7月）分、2期（8月～11月）分、3期（12月～3月）分で利用者に工賃規定に則り、給与という形で分配した。なお、表1に収益、表2に分配金の詳細を示します。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紙管残糸処理	240	120	75	75	75	45	90	135	90	45	90	75	1155
空き缶販売	1,818	1,848	1,374	1,405	2,598	1,496	4,196	1,945	2,748	1,932	1,896	3,387	26643
B品軍手			60	100	20	80	60	60	60	40	60	60	600
自主製品売上げ											2,903		2903
その他													0
合計	2,058	1,968	1,509	1,580	2,693	1,621	4,346	2,140	2,898	2,017	4,949	3,522	31301

表 1 各部門 収益

	収益総額	分配額	利用者数	繰越金	備考
1期	7,115	616	12	4	利用者1名 335円支給
2期	10,800	920	12	9	利用者1名 675円支給
3期	13,386	1,111	12	63	軍手B品 60円未収
合計	31,301	2,647		63	60円は次年度へ繰り越し、3円は雑収入として入金

表 2 給与（分配金）詳細

④ 音楽活動

週4回ある音楽活動では、選定した曲にあわせて歌ったり、ダンスをして楽しみました。また、木曜日は午前と午後にグループ別でカラオケを実施。年に1度、その成果を発揮する舞台として、カラオケ大会を行いました。

⑤ レクリエーション

月に1回程度、レクリエーションを実施。内容については以下の表のとおり。

	内容	場所	備考
4月	花見	滝の池	
5月	公園散策	りんくう公園	
6月	季節の花の観賞	緑化センター	和歌山県植物公園
7月	紅白カラオケ大会	つばさ	
8月	流しそうめん	つばさ	
9月	公園散策	水間公園	
10月	季節の花の観賞	花の文化園	
11月	紅葉狩り	とんぼ池公園	
12月	クリスマス会	つばさ	テディベア演奏会 および利用者発表会実施
1月	初詣	意賀美神社	滝の池公園にて休憩
2月	節分豆まき	つばさ	雨天のため参拝は中止
3月	食事会	つばさ	日根野ジャスコで各自弁当 購入後に食事会を実施

表 3 レクリエーション一覧

⑥ フリータイム

14時30分からティータイムまでの30分間で実施。それぞれ自分のしたい活動やスタッフとの面談など利用者の皆さんに遣り残しがないよう、支援。それぞれが思い思いの活動を行うことができていました。

4. その他

様々な活動プログラムに「自分で選ぶ」というプロセスを組み入れ、自主性を促しながら支援を行い、自ら決定するという体験を積んでいくエンパワメント支援を行ってきた。特にものづくりでは、「わ∞ねっとフェスタ」や「町民文化祭」に向けて、利用者の皆さんが主体的に考え、作品制作に積極的に取り組む姿が見られるなど、自分で考える能力や目標を達成する能力を発揮することができました。

また、今まで活動の中では本格的なボランティアは受け入れてなかったが、クリスマス会での利用者の皆さまやボランティアの方々の和やかな表情は、心の底から楽しんでいることが窺え、地域と繋がるためにもその重要性を改めて認識させられました。

今後は、活動や支援の幅を広げるために、継続的なボランティアの受け入れを前向きに検討していく。

つばさ 就労継続支援 B 型事業 事業報告

1. 事業の目的

仕事を主題として日々の充実を図る。

就労への前段階の訓練を行う利用者、“つばさ”という職場に働きに行くという感覚を持ってもらう利用者など、利用者各々の課題に則った支援を行う。

その中から、就労に向けた取り組みを検討、実施する。

2. 活動内容

企業からの仕事を中心に、基本的には内職のような仕事が主となる。企業からの仕事が減る時期を見計らって、自主制作商品の開発を利用者と手がけました。

3. 取引先との状況

① 古谷ダンボール

資材不足になることもなく、ほぼ安定した仕事をいただいています。そんな中、平成 25 年 3 月には若干大きさの異なる仕事に切り替わる。工程としては今までと変わらないこともあって、担当する利用者も何ら影響なく仕事できています。また、パットが剥がれる不具合の発生については試行錯誤の結果、電子レンジでパットを温めることで解消されました。

② 喜納金属

仕事がある際は常時つばさを優先していただいています。納期に対しても予測した上で、先方と調整していることと利用者の臨機応変な対応と努力で、納期が遅れるような事態はありませんでした。

また、今までとは全く違う内容の仕事の依頼があったが、先方の計画段階で取りやめになりました。

③ 新家樹脂化工

コンスタントに仕事をいただいています。トレーに傷らしきものが見つかったため、道具の交換、資材倉庫の掃除、本人への声掛けを実施し、問題はほぼ解決されました。

④ (有)三誠プロダクト

ジェルカラーニスのラベル貼りの仕事を中心に。新しく依頼のあった仕事において、つばさからの納品時に、箱内でボトルとボトルが当たることでラベルに傷が付くというクレームがあった。これについては今後の対応策を説明する。

⑤ 中谷梱包所

特に苦情もなく取り組んでいる。糸切りの資材が不足気味になるため、B 品の仕事を担ってもらうことがあった。また、生活介護事業も「はたらき」のプログラムで B 品の仕事を実施しているため、今後は B 品の資材不足も考えられます。

⑥ ツバメタオル

タオル業界として仕事が少ない時期に資材量が減ることが年間に数回見られました。

また、不具合による手直しの依頼はあったが、大きな問題になる不具合はありませんでした。

⑦ 中村化工

平成 24 年 4 月に先方より仕事の打診をいただき、5 月に開始する。シャワーヘッドの部品の袋詰め作業で、特に不具合もなく取り組めていました。しかし、依頼されていた商品が 9 月中旬で生産終了となり、それとともに取引も終了となりました。

⑧ 段ボール販売

特に問題ありませんでしたが、1 月以降、段ボールをいただいていた業者の都合により段ボールをいただくことがなくなりました。

4. 利用者の担当

基本的な担当を下表に示します。喜納金属からの依頼において、納期によっては副担当の利用者に説明をして、臨機応変に担ってもらいました。各利用者に対して明確な担当があることから、それが仕事への責任感になるよう支援をしていきたい。

	主	副
古谷ダンボール	M.R	
新家樹脂化工	K.Y	N.T
三誠プロダクト	M.Y	Y.H
ツバメタオル	N.T、K.O	H.H
喜納金属	Y.H	N.R、M.Y、K.Y
中谷梱包所(型入れ)	S.K、S.A、N.T	
中谷梱包所(糸切り)	N.M、N.T	M.Y、Y.H、H.H
中谷梱包所(B品)	Y.H	
中村化工	M.Y	

5. 売り上げについて

1 期は喜納金属の仕事も常時あり、その他の仕事もコンスタントにあったこともあって、全体的な売り上げも 8 万円前後が多い。2 期では 10 月以降の中村化工の仕事終了の影響もなく、他企業の全体的な売り上げが底上げされました。3 期では正月休みの長期休業の影響および古谷ダンボールのパット剥がれにより売り上げに大きく影響しました。さらに体調不良によって休む利用者がおられ、中谷梱包所の生産数の低下が大きく影響しました。また、先述の通り 1 月以降段ボールの収入がなくなりました。

仕事名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
古谷ダンボール	¥16,800	¥7,800	¥14,400	¥12,600	¥9,600	¥12,600	¥12,000	¥6,600	¥13,200	¥7,200	¥7,800	¥8,400	¥10,750
新家樹脂化工	¥4,660	¥4,618	¥4,594	¥5,838	¥4,618	¥4,530	¥4,636	¥3,922	¥4,572	¥3,664	¥3,084	¥3,994	¥4,394
三誠プロダクト	¥3,686	¥0	¥1,650	¥5,119	¥2,839	¥6,478	¥4,762	¥9,699	¥1,650	¥309	¥0	¥3,931	¥3,344
ツバメタオル	¥20,450	¥21,900	¥22,110	¥20,480	¥19,700	¥19,910	¥24,240	¥26,670	¥20,450	¥16,740	¥22,440	¥25,300	¥21,699
段ボール	¥935	¥2,210	¥0	¥2,625	¥4,580	¥1,870	¥1,690	¥0	¥1,360	¥0	¥0	¥0	¥1,273
喜納金属	¥7,000	¥5,200	¥1,440	¥2,000	¥1,600	¥2,200	¥9,192	¥5,360	¥1,740	¥3,160	¥8,000	¥2,320	¥4,101
中谷梱包所(型入れ)	¥29,772	¥23,013	¥32,373	¥29,619	¥23,130	¥32,229	¥29,790	¥33,354	¥32,094	¥18,900	¥29,979	¥28,944	¥28,600
中谷梱包所(B品)	¥140	¥0	¥100	¥180	¥60	¥160	¥160	¥100	¥400	¥340	¥80	¥160	¥157
中村化工	¥0	¥2,880	¥6,061	¥5,565	¥5,426	¥5,433	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥2,114
売上合計	¥83,443	¥67,621	¥82,728	¥84,026	¥71,553	¥85,411	¥86,470	¥85,705	¥75,466	¥50,313	¥71,383	¥73,049	¥76,431

6. 工賃について

	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	10月分	11月分	12月分	1月分	2月分	3月分	平均
M.R	¥8,263	¥6,378	¥8,107	¥8,228	¥6,655	¥8,161	¥7,935	¥7,721	¥7,517	¥4,816	¥6,419	¥6,437	¥7,220
N.T	¥7,672	¥6,440	¥7,903	¥7,937	¥6,626	¥7,961	¥7,802	¥7,991	¥7,317	¥4,738	¥6,664	¥6,769	¥7,152
S.K	¥6,695	¥5,640	¥6,862	¥6,996	¥5,953	¥7,112	¥6,928	¥7,147	¥6,414	¥3,617	¥5,872	¥5,957	¥6,266
M.Y	¥6,956	¥5,581	¥6,882	¥7,247	¥6,071	¥7,299	¥6,975	¥7,647	¥6,315	¥3,986	¥5,646	¥5,866	¥6,373
K.Y	¥6,879	¥5,821	¥6,896	¥7,078	¥5,893	¥6,992	¥7,082	¥6,960	¥6,378	¥4,268	¥5,590	¥5,893	¥6,311
N.T	¥7,087	¥6,246	¥7,289	¥7,463	¥6,416	¥7,412	¥7,468	¥7,624	¥6,751	¥4,007	¥6,264	¥6,511	¥6,712
Y.H	¥6,741	¥5,701	¥6,900	¥6,938	¥6,057	¥6,856	¥6,925	¥7,058	¥6,203	¥4,045	¥5,908	¥5,887	¥6,268
N.M	¥6,424	¥5,410	¥6,573	¥6,668	¥5,775	¥6,812	¥6,559	¥6,920	¥6,233	¥3,286	¥5,501	¥5,727	¥5,991
N.T	¥5,984	¥4,309	¥6,512	¥6,652	¥5,748	¥6,285	¥6,691	¥4,043	¥2,199	¥3,983	¥4,941	¥5,173	¥5,210
K.O	¥7,401	¥6,401	¥7,686	¥7,694	¥6,676	¥7,726	¥7,804	¥8,112	¥7,063	¥4,913	¥6,652	¥6,880	¥7,084
S.A	¥6,858	¥5,700	¥6,955	¥7,030	¥5,958	¥7,097	¥6,970	¥7,215	¥6,499	¥3,659	¥5,912	¥6,001	¥6,321
S.T	¥2,626	¥0	¥0	¥0	H.H	¥1,900	¥3,069	¥3,119	¥3,061	¥1,341	¥1,947	¥2,177	¥1,749
平均	¥6,632	¥5,302	¥6,547	¥6,661	¥6,166	¥6,801	¥6,851	¥6,796	¥5,996	¥3,888	¥5,610	¥5,773	¥6,085

Hさんについては月に8回程の利用のため、上記のような工賃になっている。今年度の最高工賃額は8,263円で、年間の全体平均として6,085円の工賃支払でした。また、年末頃から売り上げが減り、工賃も減る傾向になりました。

7. その他

現在のところ各企業から内職のような仕事を主に取り組んできており、そのような中で自主制作商品の試作を数種類試みました。今後は蜜蝋クレヨンの商品化をはじめ、廃油石鹼の商品化を目指し、それとともに販売路について検討していきたい。

若葉ホーム・みくまホーム・牧野ホーム事業（共同生活介護・援助事業）

1. 支援体制（事業全体）

① 事業形態

4 ホーム3 事業体制で実施。

② 連携（バックアップ）事業所

つばさにおいて、夜間及び休日などにおける連絡体制を整備し、緊急時における支援を実施。

③ スタッフ配置

- ・つばさの管理者、サービス管理責任者が同事業の管理者、サービス管理責任者を兼務としました。

- ・生活支援員を常勤2名配置（うち1名は主任）

- ・事業全体 主たる世話人4名 世話人12名 宿直9名

④ スタッフの動向

氏名	日時	職種	摘要
A. F	平成24年10月31日	世話人	退職
R. K	平成25年3月31日	世話人	退職
Y. S	平成24年7月1日	世話人	採用

2. 利用者支援

① グループホーム利用者ミーティング

4月の第1回目に年間計画をホーム事業利用者全体で話し合いを行い、その計画に従って実施。

実施日	実施内容	実施場所	参加者	参加スタッフ
4月	茶話会	つばさ	18名	T. K(管)、A. T、E. M
5月	牧場散策	黒沢牧場	17名	T. K(管)、J. T(つ)、Y. K(つ)、A. T、E. M
6月	選択外出① ポーリング	りんくうポウル	14名	A. T、E. M
	選択外出② カラオケ	レインボー岸和田店	4名	A. T、E. M
7月	防災訓練	各ホーム	19名	A. T、E. M
8月	海遊館	海遊館	17名	T. K(管)、Y. K(つ)、A. T、E. M K. Y(若)、Y. K(2若)、M. K(み)、K. F(牧)
9月	鶴見緑地公園	鶴見緑地公園	18名	T. K(管)、J. T(つ)、A. T K. Y(若)、Y. K(2若)、M. K(み)、K. F(牧)
10月	金平糖ミュージアム 2回に分けて実施	金平糖ミュージアム	19名	A. T、E. M、Y. K(2若)
11月	防災訓練	和歌山市消防局防災 学習センター	19名	T. K(管)、A. T、E. M S. K(若)、Y. K(2若)、T. A(み)、K. F(牧)
12月	クリスマス会	つばさ	19名	J. T(つ)、M. M(つ)、Y. K(つ)、A. T、 E. M、K. Y(若)、Y. K(2若)、M. K(み)、 K. F(牧)、S. F(牧)
1月	新年会	つばさ	15名	T. K(管)、A. T、E. M Y. K(2若)、M. K(み)、K. F(牧)、S. F(牧)

2月	選択外出① カラオケ	レインボー岸和田店	8名	A. T, E. M
	選択外出② ボーリング	エンターポウル泉佐野店	12名	A. T, E. M
3月	ハーベストの丘	ハーベストの丘	20名	T. K(管)、M. M(つ)、A. T, E. M K. Y(若)、Y. K(2若)、M. K(み)、K. F(牧)

※グループホーム利用者ミーティングの参加、不参加についてはご本人の判断に委ねています。

※(管)は管理者、(つ)はつばさスタッフ、世話人については(若)は若葉ホーム、

(2若)は第2若葉ホーム、(み)はみくまホーム、(牧)は牧野ホームを示す。

② 生活支援

利用者の皆さんの高齢化に伴い通院の付添や介助、入院や一時的な介護事業所への入所の対応など、これまでに比べて、健康管理面での業務が増加。また個別のニーズに応える支援としては、買い物の同行や自室の整理、ガイドヘルパー事業所、ケアマネージャーとの調整などを実施。

3. 会議・研修

① 主たる世話人ミーティング

- ・各ホームの主たる世話人と総合施設長、管理者、生活支援員2名、看護師、管理栄養士出席で会議を毎月第2金曜日に定例で実施。
 - ・会議内容は、全体での報告のほか、各ホームでの栄養面や健康面での相談、利用者支援における論議など、その月々によって、議題を設定して実施。
- また、その会議の報告を各ホームの世話人に伝達する事を徹底しておこないました。

② 世話人ミーティング

- ・ホームごとに生活支援員、主たる世話人、世話人、宿直で参加できる者で概ね月に1回のペースで実施。必要に応じて管理者の出席もありました。
- ・会議内容は、ケース会議や支援についての相談、研修の報告など。

③ 研修

管理者、生活支援員の研修参加実績は以下の表による。

また、各ホームの世話人、宿直者の研修参加実績については各ホームのところに詳細を示す。

日時	研修内容 題目	主催	参加者
5/18	地域生活部会	わ∞ねっと	T. K
7/6	地域生活部会	大阪知的障がい者福祉協会	T. K
7/10	共生福祉の街づくり研修	大阪知的障がい者福祉協会	A. T
7/10	居住系事業所連絡会	わ∞ねっと	T. K
8/17	地域生活部会	わ∞ねっと	T. K
9/14	居住系事業所連絡会	わ∞ねっと	T. K
9/26	地域生活部会	大阪知的障がい者福祉協会	T. K
11/21	重度知的障害者のGHについて	砂川厚生福祉センター	E. M
11/12	居住系事業所連絡会	わ∞ねっと	T. K
11/28	地域生活部会	大阪知的障がい者福祉協会	T. K

1/17	居住系事業所連絡会	わおねっと	T. K
2/1	近畿 GH・CH 大会	兵庫知的障がい者福祉協会	A. T
3/13	地域生活部会	大阪知的障がい者福祉協会	T. K
3/22	居住系事業所連絡会	わおねっと	T. K

4. 各ホーム事業の状況

① みくまホーム事業

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	生活支援員配置基準	日中活動など
K. A	女	64	3	1:9	つばさ生活介護事業
K. M	女	62	4	1:6	つばさ生活介護事業
N. K	男	53	3	1:9	つばさ生活介護事業
K. N	男	60	4	1:6	つばさ生活介護事業

・移動支援事業利用者 4名

2) 支援体制

世話人体制 (4:1) 主たる世話人 1名 世話人 2名 宿直 2名

生活支援員 (4.4H/1日)

3) 支援における特記事項

N. K: 脳腫瘍が大きくなってきており処置が必要となってきました。

主治医の指示を仰ぎながら生活状況・環境整備をおこないました。

K. N: 嚥下力の低下がみられ、食事の状態確認を常時おこないました。

季節的に肺炎を起こす傾向があり体調管理をおこないました。

(寒暖の差がある気候時)

4) 職員研修

日時	研修内容 題目	参加者
2/1	近畿 GH・CH 大会	M. K
3/13	障がい者虐待防止法啓発講演会	M. K、立石

5) その他

業務軽減のためツールグレイスの食材等の配達サービスを2回/週で利用。

美熊台自治会の行事(清掃や研修)にスタッフが参加。

② 若葉ホーム事業(若葉ホームと第2若葉ホームの2軒)

若葉ホーム

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	生活支援員配置基準	日中活動など
M. N	男	59	3	1:9	つばさ就労継続支援B型事業
K. S	男	54	3	1:9	つばさ就労継続支援B型事業
S. K	女	76	3	1:9	デイサービス(介保)

H. K	女	39	1	なし	就労（療育園清掃業務）
A. S	男	53	4	1:6	つばさ就労継続支援B型事業

- ・移動支援事業利用者 5名
- ・日常生活支援事業利用 3名
- ・成年後見制度利用者 1名

2) 支援体制

世話人体制（4:1） 主たる世話人 1名 世話人 3名 宿直 4(+1)名
生活支援員（3.1H/1日）

3) 支援における特記事項

S. K: 加齢による体力低下、筋力低下がみられてきている。日々の生活を続けられるように配慮をおこないました。

4) 職員研修

日時	研修内容 題目	参加者
2/1	近畿 GH・CH 大会	K. Y
3/13	障がい者虐待防止法啓発講演会	K. Y

5) その他

業務軽減のため、いずみ市民生協を1回/週で利用。

第2 若葉ホーム

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	生活支援員配置基準	日中活動など
T. O	男	50	2	なし	就労
T. N	男	49	2	なし	つばさ就労継続支援B型事業
H. F	女	69	3	1:9	つばさ生活介護事業
H. Y	女	71	4	1:6	デイサービス（介保）
M. I	女	45	4	1:6	つばさ生活介護事業
K. O	女	47	4	1:6	熊取療育園生活介護事業

- ・移動支援事業利用者 5名
- ・成年後見制度利用者 2名

2) 支援体制

世話人体制（4:1） 主たる世話人 1名 世話人 3(+1)名 宿直 2名
生活支援員（4.9H/1日）

3) 支援における特記事項

M. I: 緊張からくる精神面の安定を図るため、慣れる経験を積むことで徐々に緊張をほぐすようにしました。

H. Y: 初期の乳癌がみつきり切除手術をおこないました。経過良好です。

H. F: 転倒により大腿骨骨折にて人工骨頭を入れる手術をおこなった。移動時の見守り強化をおこないました。

T. N: 健康診断にて生活習慣病への予防を目指す指導があり、歩く機会を増や

して健康増進と気分転換をはかりました。

4) 職員研修

日時	研修内容 題目	参加者
2/1	近畿 GH・CH 大会	Y. K

5) その他

業務軽減のため、いずみ市民生協を1回/週で利用。

若葉地区自治会の行事（クリーン熊取の清掃）に利用者とともに参加。

③ 牧野ホーム事業

1) 利用者について

利用者名	性別	年齢	区分	生活支援員配置基準	日中活動など
N. T	男	66	3	1:9	デイサービス（介保）
H. S	女	66	3	1:9	デイサービス（介保）
T. H	女	64	2	なし	つばさ生活介護事業
A. A	男	22	1	なし	就労
K. I	男	22	3	1:9	就労（最賃除外）

- ・移動支援事業利用者 3名
- ・日常生活支援事業利用 2名
- ・成年後見制度利用者 1名

2) 支援体制

世話人体制（5:1） 主たる世話人 1名 世話人・宿直 1名

生活支援員（2.7H/1日）

3) 支援における特記事項

K. I：職場との調整のため、職場訪問を定期的におこないません。

H. S：デイサービス利用開始。利用日数は週2回で外出する機会をつくりました。

N. T：デイサービス利用開始。週5回利用をおこなっています。

4) 職員研修

日時		参加者
2/1	近畿 GH・CH 大会	K. F

